

Study on estimates of local resources potential and establishment of land use planning method for the construction of the regenerative society

上原, 三知

<https://doi.org/10.15017/458894>

出版情報 : Kyushu University, 2004, 博士 (芸術工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

謝辞

本論文は、筆者が九州大学大学院芸術工学府に学位請求論文として提出したものです。

本論のテーマは、九州大学大学院芸術工学研究院、環境計画部門、緑地保全学研究室の重松敏則教授により与えられたものであり、研究遂行上、時宜に適った御教示いただきました。重松教授には、調査研究だけでなく、社会の現状や課題をよりよく改善することを常に意識し、行動することの大切さを学びました。先生の下で学べたことを誇りに思います。

そして、本論文の審査に際しては、同大学院の環境生産学研究室の片野博教授、緑地環境設計学研究室の包清博之教授に、それぞれご専門の立場から、貴重なご助言・ご指導を頂きました。博士論文としての目的が明確になり、今後の研究課題についても新たな示唆を得ることができました。

同大学院、都市環境設計学研究室の西山徳明教授には、循環型、環境共生を将来像に掲げる新宮町を対象地とするきっかけを与えていただきました。

なお、環境経済学研究室の近藤加代子助教授には循環型社会研究の位置付けや、その既往成果についての有意義なご指摘をいただき、環境人類学研究室の谷正和助教授には初めての国際学会論文の執筆にご尽力いただきました。

同大学院の環境化学研究室の廣川昭二教授、萩市まちなみ対策課の大槻洋二氏(当時、九州芸術工科大学の助手)には、卒業論文や、修士論文の段階において適切な助言を、神戸芸術工科大学の杉本正美教授、ならびに小玉祐一郎教授、齊木崇人教授にも今後の展開についてのご指摘をいただきました。

芸術工学という環境設計に関わる多様な分野からのご指摘があったからこそ、問題の解決に向けた計画案を提示する姿勢で、本研究に打込むことができました。

また本研究の資料収集にあたって、新宮町町役場企画開発課(当時)の笠井与志則氏、三船史郎氏に貴重なデータや、実際に町づくりに携わる立場からの率直なご意見を頂きました。特に笠井氏とそこご家族には、的野地区での現地調査等においても多大なご協力をいただきました。

また、共有林管理への参加や、アンケート調査に協力して下さった的野地区の住民の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

一方、研究室においては、助手の朝廣和夫氏に、研究計画やGISの基本操作のご指導をいただき、最後まであたたかい応援をいただきました。また、志賀壮史氏、平野國臣氏をはじめとする研究室の先輩方に、環境保全や、研究に没頭することの面白さを教えていただきました。

その後、藤井義久君、岩本辰一郎君、鳥越久代さん、水野伸太郎君、西浦千春さん、朝野景さん、山崎伸司君をはじめ、多くの同級生、後輩達に、調査や、論文の作成に際し、貴重な時間を費やしていただきました。

最後になりましたが、お世話になった全ての方々、長年にわたる研究生活に理解を示し支えてくれた父良躬、母 祥子に感謝の意を述べたいと思います。

2005年2月 上原三知